



「屋久島町立一湊小学校の一湊まち歩きの実組」

1. 学校名	屋久島町立一湊小学校	
2. 学年・人数	5・6年生 10人	
3. 日時・場所	(1) 日時 2024（令和6）年9月20日（金） (2) 場所 一湊松山遺跡	
4. 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について	(1) 名称・時代 一湊松山遺跡（いっそうまつやまいせき）：縄文時代前期～後期 (2) 特徴等 縄文時代前期の曾畑式土器から縄文時代後期の一湊式土器までが重層的に確認されている遺跡である。	
5. 活用の取組において地域との連携や工夫した点等	コミュニティスクール制度の活用によって、一湊地域の歴史に詳しい人材（まち歩きナビゲーター）を紹介してもらい、スムーズに活用することができた。まち歩きナビゲーターの子供の頃の思い出なども交えながら、一湊の歴史についての詳しい紹介があった。 子供たちが主体的に郷土を学び、地域行事に参加することで、自分たちの住む地域に愛着をもち、誇りに思う態度の育成につながっている。	
6. 取組の様子（研究発表等）	 <p style="text-align: center;">一湊まち歩きマップ</p>	 <p style="text-align: center;">写真を用いた遺跡の説明</p>
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	<p>【児童】 縄文時代から今まで一湊には人が住んでいて、文化や歴史が繋がってきていることがすごいと思った。</p> <p>【児童】 縄文の人たちが生活していたり、平家の人たちが使った平家坂があったり、私たちが住んでいたりと、一湊という同じ場所なのに違う時間でいろいろな文化があることを知ってびっくりした。</p> <p>【教職員】 身近な史跡や地域の方から学んだことで、児童が歴史について興味をもつことができた。また、児童は、学ぶ意欲が高まったり、学んだことをその後の学習に生かしたりすることができていた。</p>	